

2026 年度 第2回理事会議事録

日 時：令和 8 年（2026 年）9 月 30 日（水）19 時 00 分～20 時 20 分

場 所：web <https://zoom.us/j/96211975461?pwd=PLaHJytHLabsTI1ADIEbN38oCJ2asc.1>

出席者：小畠隆行，内田幸司，菊地克彦，熊代正行，鈴木雄一，高橋順士，高橋光幸，
寺田理希，土井 司，沼野智一，秦 博文，丸山克也，山崎 良，吉丸大輔 [14 人]
委任：江田哲男，錦 成郎（監事）

報告事項

1. 第 7 回肝 MR エラストグラフィ撮像技術講習会の開催

- (1) 開催日時：2026 年 8 月 22 日（土）9:00～16:30
- (2) 開催場所：東京都立大学荒川キャンパス図書館棟 2 階 MRI 室
- (3) 参加人数：16 名
- (4) 参加費：5,000 円 施設使用料 別途
- (5) スタッフ：沼野智一（都立大 講習会委員長）、秦 博文（北里大 講習会副委員長）
田邊頌章（横浜市民病院 Philips 担当）、福澤 圭（虎の門病院 Siemens 担当）
波部哲史（慶應大 GE 担当）、岡 大夢（横浜市民病院 ボランティア）
山田敬介（東京都立大学大学院生 撮像ボランティア）
倫理審査番号：東京都立大学荒川キャンパス研究倫理委員会承認番号 25052
- (6) プログラム
 - 1) 10:00～10:40 [講義] MRE の基礎（沼野）
 - 2) 10:45～11:30 [講義] 肝 MRE の基礎（波部）
 - 3) 11:30～12:10 [講義] 肝 MRE の撮像（田邊）
 - 4) 13:00～14:30 [実習] 肝 MRE の撮像（コンソールとポジショニング）
 - 5) 14:35～16:05 [実習] ROI の設定と弾性率変化

*13:00-16:05 の実習は 8 名の 2 班に分けて 2 種類の実習を交互に実施
- (7) 所感
 - 1) 今後も少人数制での実施が望ましい（8 名×2 班）。＜定員 20 人への増員は無理＞
 - 2) 今回から認定技師の更新ポイントの付与が参加者にわかるように HP に案内した。
- (8) 第 8 回肝 MR エラストグラフィ撮像技術講習会の実施計画
 - ・2027 年 8 月 21 or 28 日（土）9:45～17:00 に東京都立大学で開催を予定する。
 - ・申込期間：6/14～7/12 先着順
 - ・セミナーの終了時刻を 17 時にする。
 - ・フレキシブルタイプのパッシブドライバへの対応を検討する。

2. 第 5 回一般向け MRI 安全セミナーの開催

- (1) 開催期日：2026 年 9 月 14 日（月）18:00～20:00
- (2) 開催方法：機構の zoom を使った Web 開催 (3) 受講費：無料
- (4) 対象：磁気共鳴専門技術者を除く医療従事者および MRI 従事者
- (5) 参加申込み：618 人 参加者：344 人 参加率：56%（前回とまったく同じ）
- (6) プログラム 司会・進行：秦 博文，高橋光幸・
 - 1) 18:00～18:20 MRI 検査を安全に実施するために考えること 北里大学病院 秦 博文
 - 2) 18:20～19:30 安全運用・安全啓発促進のための質疑応答
 高清会高井病院 土井 司，越谷誠和病院 石川応樹，つくば国際大学 坂井上之
 北里大学病院 小見正太郎，昭和医科大学病院 本寺哲一，さやま総合クリニック 諸田智章

(7) 所感

618 人の申込みに対して 344 人の参加があり、第 4 回の 294 人／523 人を上回った。

体内金属や装着物、ネイル・化粧品など、現場で判断に迷うテーマを中心に上げ、アンケートでは他施設の対応や多職種の視点が参考になったとの意見が多く寄せられた。

オンデマンド配信も実施でき現在 354 人（新規 120 人）の登録があり発信中である。

3. 第 22 回磁気共鳴専門技術者認定試験の申請状況

	申請者	初回申請	再受験	男性	女性
東京会場	187	104	83	155	32
大阪会場	188	125	63	152	36

4. 第 22 回磁気共鳴専門技術者認定試験の書類審査結果

(1) 書類審査 (9/9 時点)

	申請者	要再提出	審査合格者	審査不合格者	未審査者
東京会場	187	32	147	8	0
大阪会場	188	55	125	8	0

(2) 審査上の問題点や改善点など

- 1) 今年度の MR 医学会を発表実績として申請⇒発表する確約がないため却下
- 2) 全国国立病院総合医学会を発表実績として申請⇒特定の技師のみの学会のため却下。
- 3) 緩和時間測定の不備が最も多かったが、昨年よりは改善傾向

審議事項

1. 第 22 回磁気共鳴専門技術者認定試験の受験者の承認

	申請者	受験承認	初回申請	再受験	受験番号
東京会場	187	170	87	82	1～187
大阪会場	188	157	94	63	1～188

2. 第 22 回磁気共鳴専門技術者認定試験準備状況

2-1. 認定試験作成委員会の準備状況

(1) 委員会

第 1 回作成委員会： 2026 年 7 月 12 日（日） 13:00～16:00 JSRT 東京事務所＋Web

第 1 回監査委員会： 2026 年 7 月 23 日（木） 18:30～20:30 Web

第 2 回作成委員会： 2026 年 8 月 16 日（日） 13:00～16:00 JSRT 東京事務所＋Web

第 2 回監査委員会： 2026 年 8 月 24 日（月） 18:30～20:00 Web

(2) 試験問題作成概要

- ・作成委員 16 人が 74 問の問題を作成し、2 回の作成委員会および監査委員会を経て、委員長が出題候補問題をまとめた。
- ・全 18 名の委員が出題候補問題の難易度を判定し、コアメンバーにて 50 問を選定した。

2-2. 第 22 回磁気共鳴専門技術者認定試験実行委員会の準備状況

(1) 試験期日 2025 年 11 月 1 日（日） 受付 12:40～ 試験 13:20～14:20・14:40～15:40

(2) 試験会場 東京）東京都立大学荒川キャンパス（東京都荒川区東尾久 7-2-10）
大阪）難波御堂筋ホール ホール 6（大阪市中央区難波 4 丁目 2-1）

(3) 実行委員 東京）江田，菊地，高橋光，高橋順，沼野，秦，北川，坂井，石川，本寺
大阪）内田，土井，山崎，竹森，立石，垂脇，城本，平塚
試験に関する注意事項（遅刻，不正行為など）も同時に添付する。

(4) 試験後のスケジュール

- 1) 試験問題検討委員会（問題作成委員会） 11 月中旬
- 2) 合格者の承認 第 3 回理事会：11 月下旬 即日合格通知の発行
- 3) 認定申請：締切 12 月 10 日（試験合格者の認定証登録手続きのための経費支払）
- 4) 認定証の送付 12 月下旬 有効期間：2027 年 1 月～2032 年 3 月

3. MR 専門技術者更新のための第 17 回 MR 医療安全管理セミナー

(1) 開催期日 11 月 29 日（日） 12:50～17:30

／11 月 30 日（月）確認テスト（その日も含めて）

(2) 開催場所 大阪難波御堂筋ホール 9B（対面受講 30 人の予定：先着順）

- (3) 申込み 10月9日(金)～11月22日(対面受講定数を超えれば web に回ってもらう)
- (4) 開催方法 機構の zoom を使ったハイブリッド方式
- (5) 対象 磁気共鳴専門技術者および希望者
- (6) 受講費 無料 ただし更新のための受講者以外は 1000 円
- (7) 司会・進行 高橋光幸, 秦 博文, 石川応樹
- (8) プログラム 講義 35 分 質疑応答 10 分
 - 1) 13:00～13:45 MRI 医療安全【総論】 高橋会 高井病院 土井 司
 - 2) 13:45～14:30 MRI 医療安全【問診を考える】 泉大津急性期メディカルセンター 谷 光太郎
 - 3) 14:30～15:15 磁性体持込み/体外装着品【貼付薬と化粧品を含む】の安全対応 国立循環器病センター 岡田 敦彦
 - 4) 15:30～16:15 体内装着品【添付文章含む】の安全対応 神戸市立医療センター西市民病院 名定 良祐
 - 5) 16:15～17:00 心臓植え込み型電氣的デバイス(CIEDs)の対応と今後の動向 東海大学情報工学部 黒田 輝

4. 第 32 回日本医学会総会 2027 への参画

- (1) 期日 2027 年 3 月 20 日(土)～3 月 28 日(日)
- (2) 会場 うめきたエリア (JR 大阪駅北側)
- (3) 対象 一般社会人、学生、子供など医療系に従事する人たち向けではない
- (4) 企画 MRI に興味を持ってもらえるような内容
- (5) 費用 日本磁気共鳴医学会から 200 万円・当機構から 100 万円支出
- (6) 会場レイアウト 2026/9/9 に IVR 学会理事と MR 学会理事長+鈴木理事で協議
- (7) 会場スペース 8m² のため大規模な展示は難しい
- (8) 企画提案について

MR 医学会にて企画を提案し見積もり取得後に再度理事会で協議

企画案 ・モニターへの動画投影 ・ポスター作製(説明は QR 読込)

- ・VR 装置による MRI 疑似体験 ・MR の音をヘッドフォンから流す体験
- ・顔出しパネル(観光地にあるようなもの)
- ・映像によるクイズに挑戦 (MRI に持ち込みの可否をクイズに)

(9) 検討課題

- ・9 日間の開催で午前・午後の担当で 18 人が必要: 認定機構で 9 人を派遣する。
- ・ノベルティのロゴを「日本磁気共鳴医学会」にする。
- ・具現化したアイデアを 10 月中旬までに鈴木理事に提案する。

5. PMDA との添付文書に関する協議

(1) PMDA と MEDIE との懇談会 9 月 28 日 (月) 18:30～9:20

MEDIE から添付文書の府不具合情報の膨大な数の調査結果が紹介された。

多くのデバイスで MR の安全性について「無記載」「安全性試験をしていない」「自主認証」として承認されている。

当初は、添付文書の充実のために「安全性試験をしていない」「自主認証」との記載でも OK としていたが、これが「よし」として出回り過ぎている。

現状のままでは、現場の負担が非常に大きいことを訴えた。

PMDA としてもメーカーに対する強制力はなく、メーカー側から自主的に改訂を申し出ていただくような呼びかけや活動をしてほしいとのこと。

(2) 第 54 回 MR 医学会大会シンポジウム 24 10 月 18 日 (日) 9:10～10:40

「MRI の安全性情報：どう伝えればいいの？第 2 弾」

座長：黒田輝，片岡正子

パネリスト：土井 司，高橋順士，岡田裕樹（京都大クリニック），松井 豊（PMDA）

1) 2025 年のインシデント報告の傾向

2) MRI 安全啓発ポスターの効果と現場の声（メーカー側の思と受け手側に温度差がある）

3) メーカーからは引き続いてポスターの配布（学会場や ITEM におく）の希望が多かった。

(3) メディエ主催 第 7 回医療機器の MR 安全性情報の添付文書記載に関するセミナー

期日：2026 年 12 月 11 日（金）17:30～19:00

対象：メーカーの方々

内容：添付文書の記載内容について「こう書いていただけると助かる」を訴える
一般向けセミナーでの質問などを例に、現場が困っていることを訴える。

結局は「現場がリスクを負うか」「患者の検査を受ける権利を奪うか」である。

6. その他

第 3 回磁気共鳴専門技術者認定機構理事会の開催期日

議題 1) 第 22 回 MR 専門技術者認定試験合格者の承認

2) 2026 年度の安全セミナーの計画

3) 2027 年の更新申請と更新審査について

2026 年 11 月中旬～下旬 web 会議（あらためて日程調整をする）

以上